



4 山菜採りによる遭難の防止

「目先の収穫よりも安全第一」

- (1) 行き先や帰宅予定時間を家族等に伝える。
行き先が分からないと、遭難したときに捜索範囲を絞れず、救助活動に時間がかかります。
- (2) 山奥に入らない。
山の中には多くの危険が潜んでいるので、慣れた山でも油断は禁物です。
自分の体力や体調、天候や日没時間に合わせた行動をしましょう。
- (3) 単独入山を避ける。
万が一、山中で迷ったり、けがをした場合、一人では対処できないことがあるので、複数で行動しましょう。
また、山の中では絶えず声を掛け合い、お互いの位置を確認しましょう。
- (4) 目立つ色の服装を着用する。
山中で遭難した場合、ヘリコプターが上空から捜索しますが、その際は赤色や白色系の服装が目立ちます。
- (5) 携帯電話やホイッスルを携行する。
携帯電話があれば、非常時に救助要請することができます。
また、ホイッスルは体力の消耗を抑えて、周囲に自分の存在を知らせることができます。

令和7年4月
北海道警察北見方面本部